

I 調査結果の概要

1 生乳生産量と用途別処理量

(1) 生乳生産量

－ 生乳生産量は1.8%減少 －

生乳生産量は813万7,512 t で、前年に比べ14万7,703 t (1.8%)減少した。これは、生乳の減産計画生産が実施されたこと等からである。

図1 生乳生産量の推移

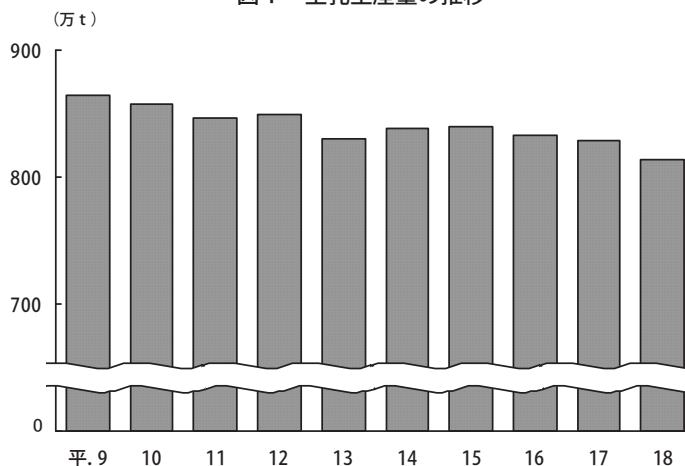
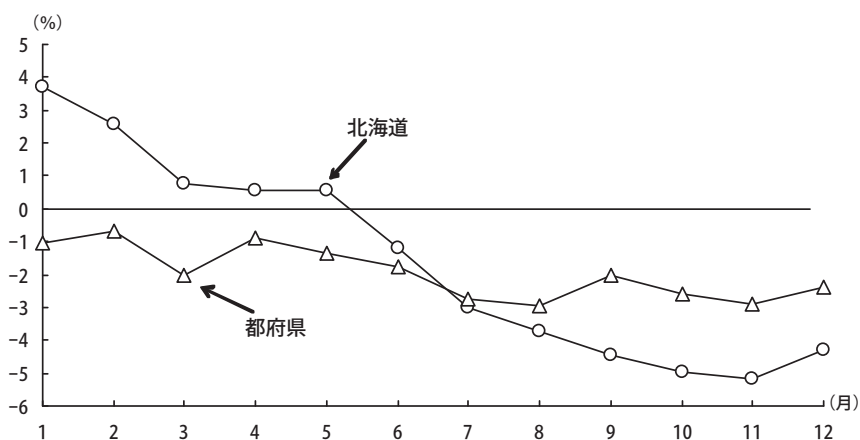


表1 生乳生産量

年次	実数(t)			対前年比(%)		
	生乳生産量	北海道	都府県	生乳生産量	北海道	都府県
平.17	8 285 215	3 861 171	4 424 044	99.5	100.6	98.5
18	8 137 512	3 799 121	4 338 391	98.2	98.4	98.1

図2 生乳生産量の前年同月に対する増減率(平成18年)



(2) 農業地域別生乳生産量

－ 北海道の生乳生産量シェアは46.7% －

農業地域別の生乳生産量をみると、北海道が379万9,121 t (全国に占める割合46.7%)で最も多く、次いで関東が126万5,955 t (同15.6%)、九州が77万212 t (同9.5%)の順となっている。

また、農業地域別に生乳生産量を5年前(平成13年)と比べると、北海道では増加しているが、その他の地域では減少している。

図3 農業地域別生乳生産量シェア

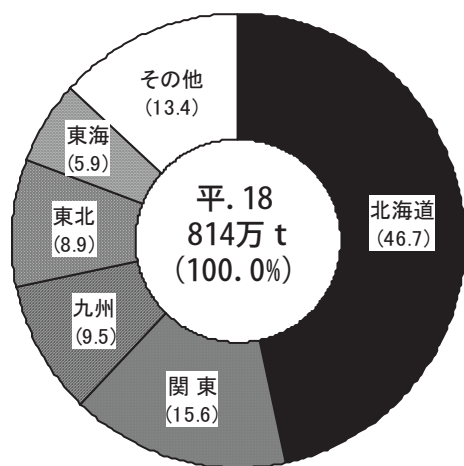
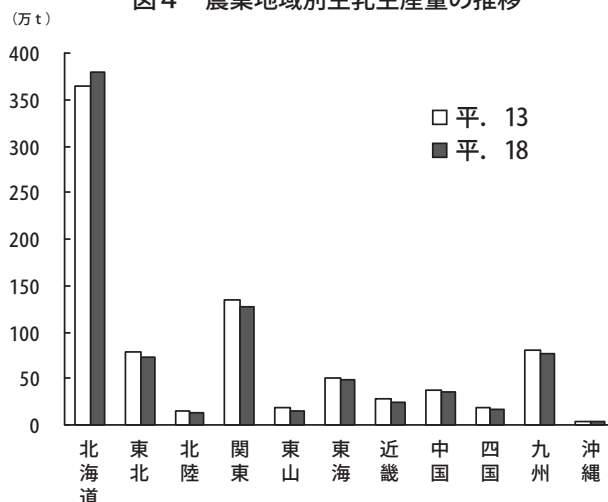


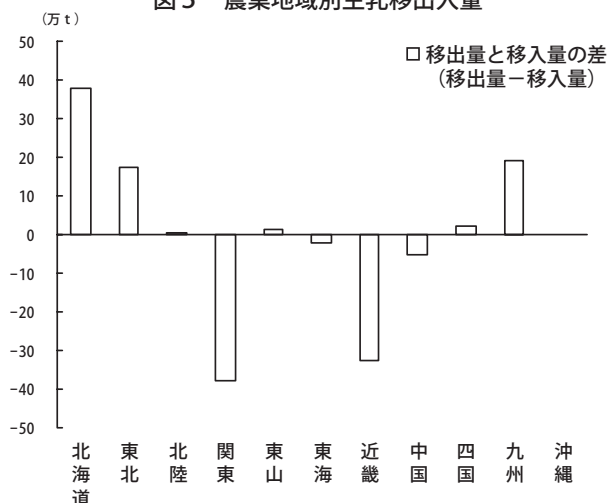
図4 農業地域別生乳生産量の推移



(3) 農業地域別生乳移出入量

農業地域別の生乳移出入量をみると、移入量よりも移出量が多いのは北海道、九州、東北の順に多く、移出量よりも移入量が多いのは関東、近畿、中国の順となっている。

図5 農業地域別生乳移出入量



(4) 用途別処理量

－ 牛乳等向け処理量は2.7%減少 －

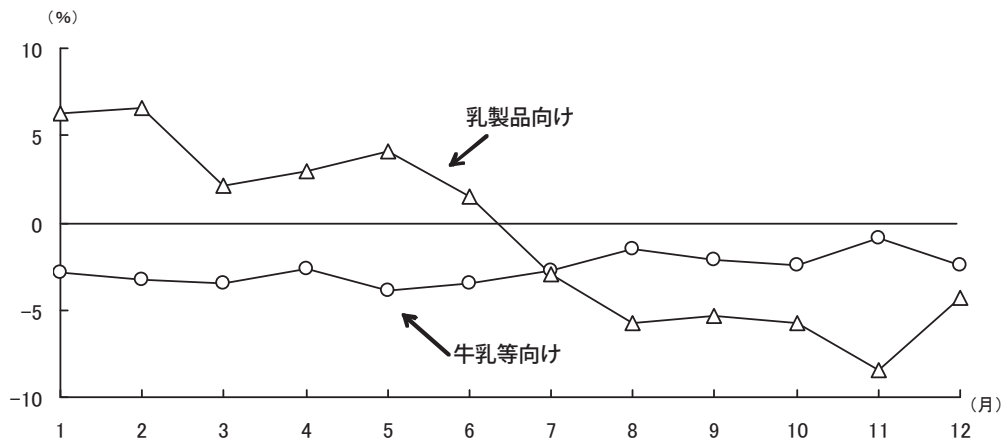
生乳の用途別処理量をみると、牛乳等向け処理量は464万8,191 t、乳製品向け処理量は340万8,095 tで、前年に比べそれぞれ12万7,144 t (2.7%)、2万1,361 t (0.6%) 減少した。

表2 生乳用途別処理量

年次	生乳生産量	用途別処理量				
		牛乳等向け	業務用向け		乳製品向け	その他向け
平.17	8 285 215	4 775 335	303 396	3 429 456	80 424	
18	8 137 512	4 648 191	309 036	3 408 095	81 226	
対前年比(%)	98.2	97.3	101.9	99.4	101.0	

単位：t

図6 生乳用途別処理量の前年同月に対する増減率(平成18年)



2 牛乳等生産量

(1) 飲用牛乳等生産量

－ 牛乳生産量は3.2%減少 －

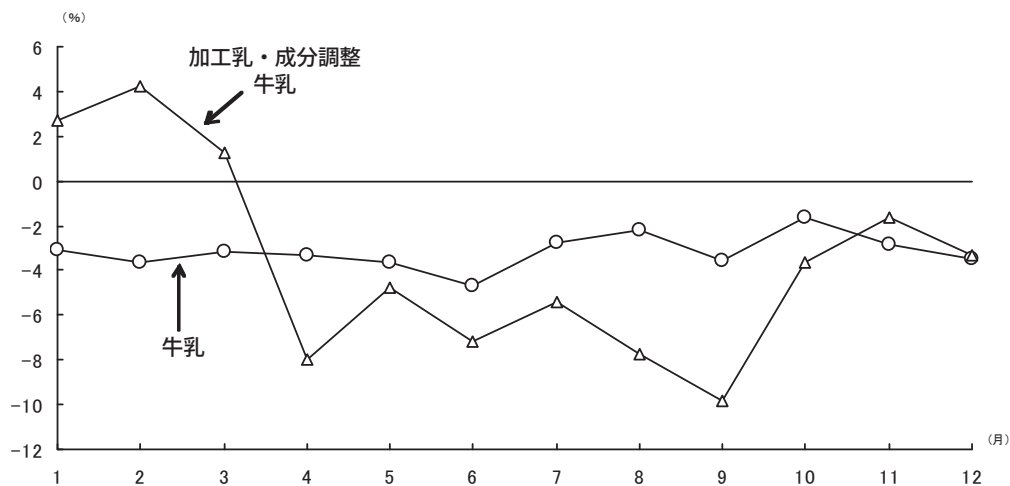
飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳生産量は370万1,774k1、加工乳・成分調整牛乳生産量は44万8,598k1で、前年に比べそれぞれ12万916k1(3.2%)、1万8,341k1(3.9%)減少した。これは、飲用牛乳等の消費の低迷等によるものである。

表3 飲用牛乳等生産量

年次	飲用牛乳等					
	計	牛乳	加工乳・成分調整牛乳			
			業務用	調整牛乳	業務用	成分調整牛乳
平.17	4 289 629	3 822 690	288 485	466 939	17 780	189 113
18	4 150 372	3 701 774	294 758	448 598	19 813	180 872
対前年比(%)	96.8	96.8	102.2	96.1	111.4	95.6

単位：k1

図7 飲用牛乳等生産量の前年同月に対する増減率(平成18年)

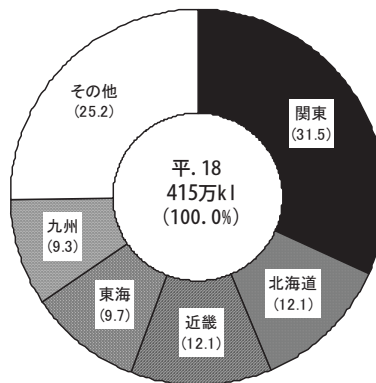


(2) 農業地域別飲用牛乳等生産量

－ 関東の飲用牛乳等生産量シェアは31.5% －

農業地域別の飲用牛乳等生産量をみると、関東が130万8,202k1(全国に占める割合31.5%)で最も多く、次いで北海道が50万4,127k1(同12.1%)、近畿が50万1,680k1(同12.1%)の順となっている。

図8 農業地域別飲用牛乳等生産量シェア



(3) 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量

－ 乳飲料生産量は3.2%増加 －

乳飲料の生産量は124万2,044k1、はっ酵乳生産量は83万9,324k1で前年に比べそれぞれ3万8,829k1(3.2%)、3万9,388k1(4.9%)増加した。

一方、乳酸菌飲料の生産量は16万6,014k1で前年に比べ7,615k1(4.4%)減少した。

図9 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量の推移

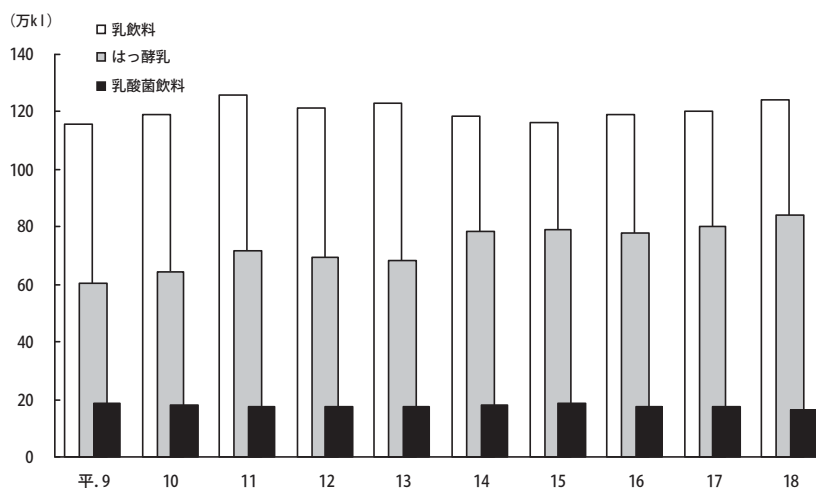


表4 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量

年次	実数 (k1)			対前年比 (%)		
	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
平.17	1 203 215	799 936	173 629	101.2	102.9	99.8
18	1 242 044	839 324	166 014	103.2	104.9	95.6

3 乳製品生産量

－ クリーム及びチーズは増加、バター及び脱脂粉乳は減少 －

主な乳製品の生産量をみると、クリームは9万5,567 t、チーズは12万4,886 tで、前年に比べそれぞれ4,582 t (5.0%)、2,337 t (1.9%)増加した。

一方、バターは8万476 t、脱脂粉乳は18万750 tで、前年に比べそれぞれ3,594 t (4.3%)、6,016 t (3.2%)減少した。

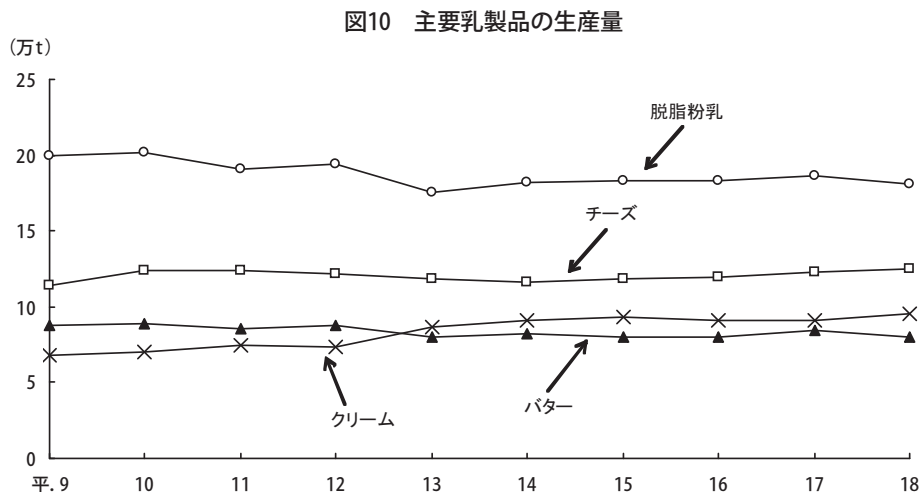


表5 乳製品生産量

単位：t

年次	加糖れん乳	無糖れん乳	全粉乳	調整粉乳	バター	クリーム	チーズ	脱脂加糖れん乳		脱脂粉乳	アイスクリーム
								うち、ナチュラルチーズ			
平.17	34 366	1 256	14 366	32 037	84 070	90 985	122 549	13 471	6 737	186 766	116 320
18	34 384	1 137	13 794	31 189	80 476	95 567	124 886	15 770	5 961	180 750	128 585
対前年比(%)	100.1	90.5	96.0	97.4	95.7	105.0	101.9	117.1	88.5	96.8	110.5

kt

4 牛乳処理場及び乳製品工場数

(1) 処理場・工場数

－ 処理場・工場数は739工場で、前年に比べ2工場が増加 －

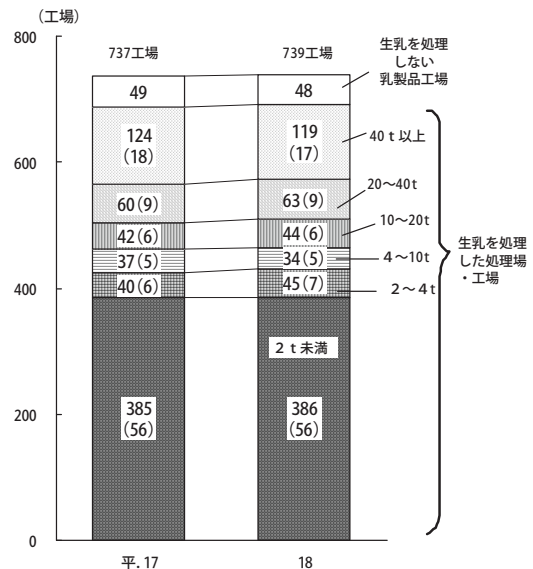
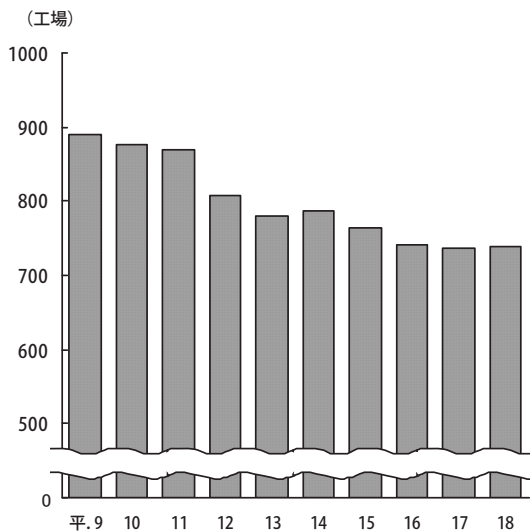
平成18年12月末日現在の牛乳処理場及び乳製品工場数は739工場で、前年に比べ2工場増加した。

これを平成18年12月の1日当たり生乳処理量規模別にみると、大規模階層の40 t以上が119工場で、前年に比べ5工場減少した。一方、2～4 tが45工場で、前年に比べ5工場増加した。

なお、生乳を処理した処理場・工場のうち、2 t未満の階層が最も多く全体の56% (386工場)を占めている。

図12 12月の1日当たり生乳処理量規模別の処理場・工場数（12月31日現在）

図11 牛乳処理場及び乳製品工場数の推移



注：()内は、生乳を処理した処理場・工場数を100とした生乳処理量規模別の処理場・工場数割合

表6 全国の牛乳処理場・乳製品工場数

単位：工場

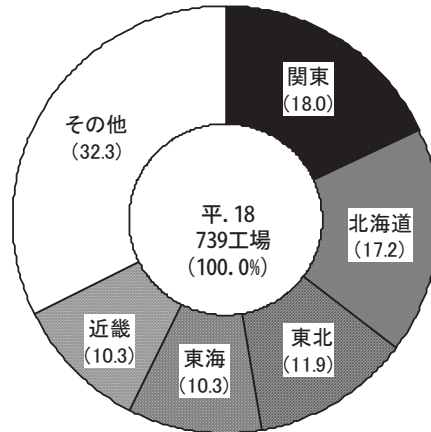
区分	計	経営組織別			12月の1日当たり生乳処理量規模別							生乳を処理しない乳製品工場
		会社	農業協同組合	個人その他	2t未満	2~4	4~10	10~20	20~40	40t以上		
平.17	737	486	59	192	385	40	37	42	60	124	49	
18	739	490	58	191	386	45	34	44	63	119	48	
対前年差	2	4	△ 1	△ 1	1	5	△ 3	2	3	△ 5	△ 1	

(2) 農業地域別処理場・工場数

－ 関東の処理場・工場シェアは18.0% －

農業地域別の処理場・工場数をみると、関東が133工場(全国に占める割合18.0%)で最も多く、次いで北海道が127工場(同17.2%)、東北が88工場(同11.9%)の順となっている。

図13 農業地域別処理場・工場シェア



(3) 製造品目別処理場・工場数

－ 牛乳を製造した工場が8工場減少、チーズを製造した工場が4工場増加 －

製造品目別の処理場・工場数をみると、牛乳を製造した工場は559工場、加工乳・成分調整牛乳を製造した工場は191工場、乳飲料を製造した工場は318工場、前年に比べそれぞれ8工場、2工場、5工場減少した。

一方、チーズを製造した工場は139工場、粉乳を製造した工場は59工場、前年に比べそれぞれ4工場、1工場増加した。

表7 飲用牛乳等、乳飲料及び乳製品を製造した工場数（平成18年1月～12月）

区分	飲用牛乳等		乳飲料	粉乳	バター	クリーム	チーズ	れん乳	乳脂肪分8%以上のアイスクリーム
	牛乳	加工乳・成分調整牛乳							
平. 17	567	193	323	58	74	79	135	49	146
18	559	191	318	59	71	78	139	48	142
対前年差	△ 8	△2	△5	1	△3	△1	4	△1	△4

注：「粉乳」は、全粉乳、調製粉乳及び脱脂粉乳を製造した延べ工場数であり、「れん乳」は、加糖れん乳、無糖れん乳及び脱脂加糖れん乳を製造した延べ工場数である。